



2025 年 8 月 5 日

各 位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード 3070)
本社所在地 東京都台東区上野 1 丁目 16 番 5 号
代 表 者 代表取締役社長 宮 崎 明
問 合 せ 先 取 締 役 馬 場 崇 暢
電 話 番 号 (03) 3871-0111 (代表)
(URL <http://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

スポーツブランド「361°」、第 20 回アジア競技大会にて最高位スポンサーとして参画
～大会公式ユニフォームをお披露目、日本国内展開にも弾み～

株式会社ジェリービーンズグループ（本社：東京都台東区、代表取締役：宮崎 明、以下「ジェリービーンズ」）が日本国内で販売代理を務めるグローバルスポーツブランド「361°（スリーシックスティワンディグリー）」は、2026 年に開催される「第 20 回アジア競技大会（Aichi-Nagoya 2026）」において、大会最高位である OCA スポンサーとして参画いたします。アジア競技大会は、アジア全体が注目する 4 年に一度の国際的なスポーツイベントであり、来年の第 20 回大会は 1994 年の広島大会以来、実に 32 年ぶりとなる日本開催となります。

このたび 361° は、大会の staff uniform launch event において、関係者用ユニフォームなどの公式アイテムを披露いたしました。機能性とデザイン性を兼ね備えたユニフォームは、多くの注目を集めるとともに、ブランドのグローバルな存在感を強く印象づけるものとなっております。

本大会への参画により、361° のブランド価値が大きく高まるとともに、今後の日本国内での認知向上や販売促進においても大きな効果が見込まれます。加えて、物販による直接的な売上や、イベント関連事業との連携によるビジネス展開など、多方面での収益機会への期待も高まっております。

1. 361°（スリーシックスティワンディグリー）について

「361°」は、香港証券取引所に上場する「361 度国際有限公司（1361:HK）」が展開するグローバルスポーツブランドであり、スポーツシューズ、アパレル、アクセサリーを中心に、世界 70 か国以上で事業を展開しています。

361° は、2024 年 6 月時点で世界各国に 7,000 店の 361° ブランド店舗及び販売網を有しています。また、2023 年度の売上高は約 1,800 億円を記録し、前年比 21%の増収を達成しました。2024 年度も売上はさらに拡大する見込みです。

また、361° は自社ブランド商品を自社工場で製造することで、高性能でコストパフォーマンスの良い製品を提供しています。この垂直統合型の生産体制により、競争力のある価格帯で高品質なスポーツ用品を展開し、市場において優位性を確立しています。

なお、361 Sports Japan は日本における独占販売総代理店です。

2. アジア競技大会について

アジア競技大会（Asian Games）は、アジア・オリンピック評議会（OCA: Olympic Council of Asia）が主催する、アジア最大級の総合スポーツ大会です。4 年に一度開催され、オリンピックと並び称される規模と注目度を誇ります。

■概要

名称：アジア競技大会（Asian Games）

主催：アジア・オリンピック評議会（OCA）

開催頻度：4 年に一度

初回開催：1951 年（インド・ニューデリー）

競技数：40 以上（陸上、水泳、体操、球技、武道など多岐にわたる）

参加国・地域：アジア 45 カ国・地域

■特徴

アジア最大級のスポーツイベントであり、参加国・選手数・競技数のいずれもアジア内で最大規模。スポーツの祭典としてだけでなく、文化交流・国際理解の促進を目的とした平和的イベント。各国の代表選手が集い、オリンピック出場にもつながる重要な登竜門とされている。

3. 第20回 アジア競技大会（愛知・名古屋2026）について

次回大会は、2026年に日本・愛知県および名古屋市を中心に開催されます。日本国内での開催は1994年の広島大会以来、実に32年ぶりとなります。

■大会概要

正式名称：第20回アジア競技大会（Aichi-Nagoya 2026）

開催期間：2026年9月19日（土）～10月4日（日）予定

主な開催地：愛知県、名古屋市ほか中部圏の各都市

想定来場者数：延べ1,000万人超

競技会場数：40会場以上

経済波及効果：数千億円規模（観光、交通、宿泊、広告など）

4. 「361°」製作のアジア競技大会2026運営スタッフ用ユニフォームを公開

361°が製作を手がけた、第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）の大会運営スタッフ用ユニフォームが、先日正式にお披露目されました。

本ユニフォームは、アジア競技大会にて活動するボランティアおよび運営スタッフが着用する公式ウェアであり、「自然との調和」をテーマにしたグリーンや、名古屋城の金のシャチホコをモチーフとしたゴールドなど、開催地の特色を反映したデザインが採用されています。

素材には通気性や快適性に優れた機能性生地が用いられており、夏季の高温下でも快適に着用できる仕様となっております。アンバサダーを務める松平健氏からも「肌触りや通気性の良さが、暑さの中でも快適に活動できそうだ」とのコメントが寄せられました。

なお、本ユニフォームは2026年8月頃より関係者に順次配布される予定となっております。





今後も当社は 361° とともに、本大会を起点とした各種マーケティング・プロモーション施策をはじめ、国内外における様々な展開を積極的に進めてまいります。

以上